

1) 卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

九州保健福祉大学では、「学生一人ひとりのもつ能力を最大限に引き出し引き伸ばし、社会に有為な人材を養成する」という建学の理念のもと、「本学は、教育基本法及び学校教育法の本旨に則り、国際化社会に向けて、介護・福祉・医療・薬学に関する理論及び社会の問題を教育研究し、応用能力を持つ人格を陶冶することを目的とする。」という大学の目的を定めて、教育・研究に取り組んでいる。そして、通信教育部社会福祉学部スポーツ健康福祉学科の目的として、「多様な学習の機会を提供することにより、大学教育の可能性を広げ、社会福祉に関する専門知識及び技術を教授するとともに、生涯スポーツや健康保持に関する知識を有した社会福祉分野の専門職業人の養成を目的とする。」を教育研究上の目的としている。

また、本学科の学位授与の方針として、本学科の課程を修め、124単位（内スクーリング単位30単位）の単位修得の条件を充たし、福祉・心理専門職として業務に必要な基礎的知識・技能・態度に加えて、健康、予防医学にも精通する知識を合わせ持ち現場実習を通して福祉・医療現場をイメージした業務内容に対応した知識・技術・態度を身につけ、解決に向けて行動することができる幅広い分野で活躍できる社会に有意な人材として、本学科の学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を以下のとおりとする。

①自ら学ぶ力

(a) 問題発見・解決力（DP1）

常に社会や福祉現場に対する問題意識を持ち、的確に把握し分析することにより、問題解決のための実践的方法を導くことができる。

②生きぬく力

(b) 社会貢献力 (DP2)

社会の一員としての自覚と責任をもち、専門職として社会的に課題を抱えた人々・地域に対して貢献することができる。

(c) コミュニケーション能力 (DP3)

課題を抱えた人々や地域、各機関や多職種等と円滑にコミュニケーションを図り、適切な支援や連携・協働を進めることができる。

(d) 専門的知識・技術実践力 (DP4)

支援が必要な対象者や地域社会に対して、専門的な知識や技術を駆使し、科学的根拠のもとで実践することができる。

③可能性を信じる力

(e) 自己研鑽力 (DP5)

社会の進歩と改善に対応するため、研究等を通じて社会課題や各領域の動向を把握し、生涯にわたり自己研鑽を続けることができる。

2) 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

通信教育部社会福祉学部スポーツ健康福祉学科では、上記の卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）を達成するために以下の教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）を定める。

①教育内容

- 1 基礎科目をはじめ、福祉現場で求められる知識・技能の修得のための専門教育科目、社会福祉士国家試験受験資格、認定心理士等に取得に必要な科目を
1 年次から体系的・系統的に配置する。

- 2) 体系的に配置された教養・専門科目を通して、コミュニケーションスキル、論理的思考力や問題解決力の能力育成を図る。

②教育方法

- 1) テキスト科目では、2 単位につき 1 課題の添削課題を与える。
- 2) スクリーニング科目では、土日を中心に講義を実施し、テキスト科目では補えない部分の学習を教員・学生との双方向による授業にて集中型で実施する。
- 3) 社会福祉士国家試験受験資格取得のための実習では、事前教育の中で大学と学生との間で実習に臨むに当たっての意思確認を行う。実習を行うための履修条件を満たした場合は実習を許可する。指定施設等においては、社会福祉士養成課程科目に定められた時間数を満たす実習を行う。実習中は、定期的な巡回指導と帰校指導を実施し、個別指導を徹底する。

③教育評価

- 1) 社会福祉士国家試験受験資格取得に必要な実習の履修に当たっては、所定の科目の添削課題の合格を求める。
- 2) 科目単位認定試験の受験は、所定の添削課題の合格と求める。
- 3) 各科目の評価は、科目単位認定試験の結果によって評価する。

3) 入学者選抜の基本方針（アドミッション・ポリシー）

通信教育部社会福祉学部スポーツ健康福祉学科は、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために必要な、次に掲げる知識・技能や能力、目的意識・意欲を備えた人を求める。

①求める学生像

- 1) 人々の多様な生き方や考え方を尊重し、また、人の心の痛みに共感できる人
- 2) 社会の事象や人を支援することに関心を持ち、自分に合った学びを

見つけていきたいと思う人

- 3) 他者とのコミュニケーションを大切にし、良好な人間関係を築いていこうと思う人
- 4) 福祉、医療、教育、心理領域の各分野に興味をもち、専門性を高めたいという意欲をもつ人

②入学までに修得すべき学力・能力

- 1) 高等学校の教育課程を幅広く修得している
- 2) 福祉や医療、教育、心理などの専門的な知識・技能を習得するための基盤となる文章読解力や論理的思考力を有している
- 3) 他者とのコミュニケーションを大切にし、協働して活動や学習姿勢・意欲を有している